



16年10月に行われた村産業まつり



Q1 今後の産業振興施策は

A1 各産業と連携して推進

柳村 一 議員（新志会）

Q1 国や地方が財政難の中、「三位一体の改革」により縮小されていく財源に頼るのではなく、自主財源の確保・拡大において、村独自の施策を展開していかねばならないと思います。

そこで、今後の自主財源確保・拡大の上で重要と思われる「農業」「商業」「工業」「観光」の産業振興の施策をお伺いします。

A1 農業振興の施策は、農家組合が中心となり、20年度を目標とした集落水田農業ビジョンが、村内20地区で策定されました。その集落営農の取り組みを支援します。

家畜排せつ物の適正処理による堆肥利用の推進やリサイクル処理を原則に農業用廃プラスチックの組織的回収を実施し、環境に配慮した循環型農業を展開していきます。

また、地産地消推進および直売施設整備の面で、野菜や果物を学校給食へ供給する取り組み、施設の管理運営や販売体制づくりやリーダー育成などを推進します。

商業振興の施策は、岩手山麓や盛岡環状線近隣をはじめとした中小の商店主や村商工会等関係機関・団体と連携しながら、特色のある商業振興につなげていくべく新たな方向性を見出していきます。

工業振興の施策は、工業振興ビジョン計画に基づき具体的アクションプランとして企業情報の収集と支援体制の構築を進めます。

今後の地域経済活性化や雇用の場の確保、地域振興の上からも、盛岡西リサーチパークへの積極的な企業誘致の推進に努めます。また、産学官連携を本村の特色として、既存企業の高度化支援、研究開発型のベンチャー育成を積極的に進めていきます。

観光振興の施策は、チャグチャグ馬コと、岩手山とその山麓に広がる雄大な自然が代表的な資源と考えています。今後岩手山を中心とした自然との共生、そこに根づく、誇れる文化との共生を観光の原点として位置付け、資源の有効活用と維持保全に努めます。